

2024年度 発達科学研究所アーカイブス

2024年度は以下の事業を行いましたので、ご報告いたします。

1. 公開研究会

(1) シンポジウム「就学前教育の過去・現在・未来：赤ちゃん学から見た教育（3）」

日 時：2024年5月18日（土）10:00-12:30

基調講演：「赤ちゃん学から見た教育」開 一夫氏（東京大学教授）

話題提供：「三つ子の魂百まで」國藤 進氏（北陸先端科学技術大学院大学名誉教授）

話題提供：「DX時代の幼児向けデジタル教材の今」野元伸一郎氏（(株)kiipl & nap）

場 所：C201／オンラインZOOM

参加人数： 85名（学内参加（学生・教職員）80名、学外参加5名）

対面参加67名、ZOOM参加18名

(2) シンポジウム「日本的小中学校英語教育のこれからを考える－「中一英語の危機」をどう乗り越える？－」

日 時：2024年9月28日（土）10時～12時(9時30分開場)

講 師：橋本拓氏

加藤奈津実先生

場 所：C301／オンラインZOOM

参加人数：64名（学内参加（学生・教職員）28名、学外参加36名）

対面参加22名、ZOOM参加42名

2. 新研究員のこれまでの研究報告とこれからの課題

(1) 2024年度第1回宮城学院女子大学附属発達科学研究所新研究所員研究会

10月23日（水）4限

丹 洋一先生（教育学科児童教育専攻）

小中を一貫した数学教育とICT教育で大事にすべきこと

遠 藤 浩先生（本学教職センター）

定時制高校の現状と課題～宮城県田尻さくら高等学校の取組を例として～

(2) 2024年度第2回宮城学院女子大学附属発達科学研究所新研究所員研究会

11月13日(水) 4限

林 瑞紀先生 (生活文化デザイン学科)

障害者支援施設の建替えに関する事例研究

—施設の個室化と生活単位の小規模化に関する研究—

浅野 晴哉先生 (心理行動科学科)

潜在化しやすい性犯罪被害者への心理支援とその課題

3. 研究倫理講習会

(1) 四研究所合同研究倫理研修会 (ZOOM開催)

日時: 2024年7月30日(火) 12:10~12:50

場所: オンラインZOOM

「倫理の空白III」研究活動のグレーゾーン 人文・社会科学編

講師: 長谷川麻子 (生活環境科学研究所所長)

4. 研究紀要発行

『宮城学院女子大学発達科学研究』第25号

5. 共同研究

(1) 「命の大切さを学ぶ防災・減災教育プログラムの開発と評価」

共同研究者: 西浦和樹・伊藤哲章・守涉・俞幌蘭・平川久美子

(2) 後期中等教育のカリキュラム改革と高大教育接続

—「総合的な探究の時間」を通した学修成果の分析—

共同研究者: 清水 権文、遠藤浩、池田和正、山本佐江

(3) オーストラリアの公立小学校で行われているimmersion教育(カリキュラム全体

の半分が英語で、残り半分が日本語で行われる授業)の実践内容を研究

—日本の小学校、中学校英語教育への転用を目的として—

共同研究者: 藤崎さなえ、Jennifer Green